

とくしま畜産成長戦略(案)の概要

1 目指すべき姿

TPPをはじめとした本県畜産業を取り巻く経済のグローバル化に柔軟かつスピード感を持って対応し、経営への影響を最小限にとどめ、意欲ある生産者の体質強化を支援することで、次代へと繋がる「足腰の強い『もうかる畜産業』の確立」を目指す。

2 計画期間

計画期間は、平成30年度までとする。

3 施策の体系

4つの基本方針に基づき施策を展開していく。

＜施策展開の基本方針＞

1 競争力の高い持続可能な畜産業の実現

＜重点推進施策（主要なもの）＞

- 【酪農】 ・ バイテク技術を活用した改良促進と効率的後継牛確保の推進
・ 飼料自給率の向上による低コスト生産の推進 など
- 【肉用牛】 ・ 作業の自動化等による労働時間の短縮・省力化作業体系の構築
・ 輸出やインバウンド対策等に向けた取組み支援 など
- 【養豚】 ・ 「阿波とん豚」の増頭推進
・ プレミアム飼育や6次産業化による競争力強化、輸出に向けた取組み支援 など
- 【肉用鶏】 ・ 「阿波尾鶏」の増産推進
・ 輸出に向けた取組み支援 など
- 【採卵鶏】 ・ 省力化及び生産性向上の推進
・ 高付加価値化や6次産業化の推進 など

2 次代を担う人材の育成

- ・ 就農希望者への農場研修制度の創設
- ・ 空き畜舎を活用した新規就農の取組み支援 など

3 畜産物の流通合理化による競争力の強化

- ・ 県内家畜市場の活性化推進
- ・ 海外輸出に向けた食肉処理施設の機能強化の推進 など

4 環境にやさしい安全・安心な畜産業の推進

- ・ 家畜伝染病の防疫体制の強化
- ・ 地域と調和した畜産経営の確立 など

足腰の強い「もうかる畜産業」の確立